

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2023 市民／学生応募用紙

<b>自治体提示の地域課題名</b> (注1)	No.	<b>自治体提示の地域課題名</b>	<b>自治体名</b>
	- (事務局用)	共創による「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」実現	山口県宇部市
<b>チームがつけたアイデア名 (公開)</b> (注2)	ACTIVE GO OUT !!!		

(注1) 地域課題名は、COG2023 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

### 1. 応募者情報 下の欄のうち赤字部分は削除して該当する番号を記入のこと

<b>チーム名 (公開)</b>	宇部フロンティア大学看護学科 2 年		
<b>チーム属性 (公開)</b>	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	<u>3</u>	
<b>メンバー数 (公開)</b>	8 名		
<b>代表者 (公開)</b>	池田 優美子		
<b>メンバー (公開)</b>	田中聖恋、伊藤寛恵、恵良優衣、宮村真帆、山崎未夢、三好空美、古谷遥香		

**[注意書き] ※ 必ず応募前にお読みください。**

#### ＜応募内容の公開＞

1. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
2. 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
4. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アトバイスの段階で相談の上公開することがあります。

#### ＜知的所有権等の取扱い＞

5. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
6. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

#### ＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認 確認後 OK なら右に○印を記入➡○

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて説明の途中に図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題のポイント>はこれです！をごく短く以下に書いてください！

<解決したい課題のポイント>

1. 人との繋がりを増やす(自殺予防)
2. 若いうちから健康習慣

新型コロナウイルス感染症の流行による外出・交流機会の減少によって、地域の健康づくり活動の停滞が懸念されている。さらには、コロナ禍で「孤独」が新たな社会問題にもなっており、女性の自殺者数の増加や小中高生においては過去最多の水準となっている。

宇部市の自殺死亡率は、5年間（H29年～R3年）で5.34ポイント上昇しており、国や県よりも高い数値となっている。全国と比べ、20歳未満と20歳代の男性の自殺者割合が高いという状況も踏まえ、若いうちから人との繋がりを持つことが自殺予防になるのではないかと考えた。

また、男性・女性ともに健康問題を原因とした自殺者が多いことから、心身の健康づくりや生活習慣病の予防に役立つイベントを実施することで、仲間づくりや交流の促進、運動に取り組みやすい機運を作り出すことができると考えた。

<以上の課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いてください> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が原点です>

<提案するアイデアの内容>

**何を**するアイデアか・・・**チームで巡るフォトジェニックイベントを実施する**

宇部市には、東京ドーム約40個分の広さをもつ緑と花と彫刻に彩られたときわ公園をはじめ、市街地には山口宇部空港があります。また、世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」受賞作品約200点の彫刻が宇部の街並みを彩っています。これらのコンテンツは、宇部市を代表する地域資源でもあり、市街地に点在しているうえ、フォトジェニックな写真が撮れる可能性も高いと考えました。

チーム（3名以上）で市街地を巡りながら、5つのジャンル「彫刻・公共施設(ときわ公園/空港など)・カフェ・動物(犬/猫に限る)・景色(海/空など)」のフォトジェニック写真を撮影し「#Active Go Out」をつけてInstagramに投稿してもらおう。「#Active Go Out」の付いた投稿を宇部市の公式アカウントに再投稿し、「いいね」数が1番多かった投稿に対して景品を渡します。宇部市の公式アカウントを使用することで、様々な世代の方に投稿を見てもらうことが出来るため、平等な評価がされると判断しました。なお、景品の資金は、ときわ公園で開催される県内最大級のフリーマーケットに参加して集めます。

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

誰が・・・宇部フロンティア大学看護学科2年（8人）が主体となって企画・実施。ターゲットは、20代～30代の若い世代。

企画の検討、アイデアの実施にあたり宇部市役所の関係課へ相談・支援をいただきます。周知については、SNSでの発信に加え、チラシ・ポスターを作成し市内各所に配布します。まず、ターゲットの若い世代が、フォトジェニック写真を撮影するために、チームで協力する機会をつくることで、人との繋がりを持つことができ、不安なことや苦しいことがあった時の相談出来る場所があります。それにより自殺予防につながります。

楽しみながら地域のことを知り歩くことで同時に運動するというのが日常生活の1つになっていきます。

一人暮らしをされていて地域のことに知らなかったり、車を持っていないからという理由で今まで外に出られなかった学生でもみんなが共通で公共交通機関や歩きというルールがあるのでそういった学生も堪能していただけます。

気に入ったお店ができ、リピーターに知らなかったお店を知る機会ができてあまり人が来なかった地域に人が来るようになれば宇部市の活性化にも繋がります。

#### いつ

2024年8月上旬から9月下旬

この期間は、大学生が夏休み期間で時間が取りやすい。また、地元に戻ってきている人もいるため参加率も高くなる。

#### どこでどのように

市街地を巡りながら、5つのジャンル「彫刻・公共施設(ときわ公園/空港など)・カフェ・動物(犬/猫に限る)・景色(海/空など)」のフォトジェニック写真を撮影し「#Active Go Out」をつけてInstagramに投稿してもらう。

#### アイデアの説明(内容)

チーム（3名以上）で市街地を巡りながら、5つのジャンル「彫刻・公共施設(ときわ公園/空港など)・カフェ・動物(犬/猫に限る)・景色(海/空など)」のフォトジェニック写真を撮影し「#Active Go Out」をつけてInstagramに投稿してもらう。「#Active Go Out」の付いた投稿を宇部市の公式アカウントに再投稿し、「いいね」数が1番多かった投稿に対して景品を渡します。

(2) アイデアの理由（公開）

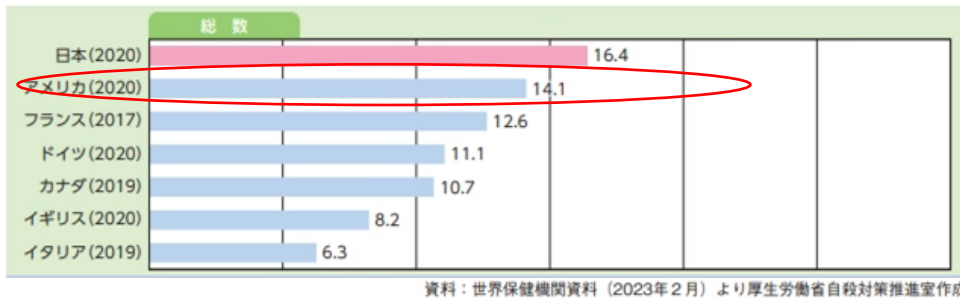
次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

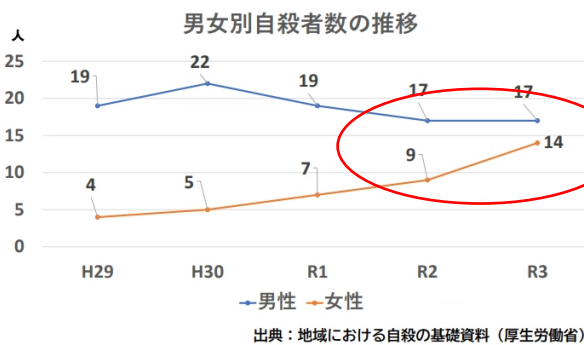
<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかの理由を上記のデータを示しつつわかりやすく書いていきます>

アイデア理由

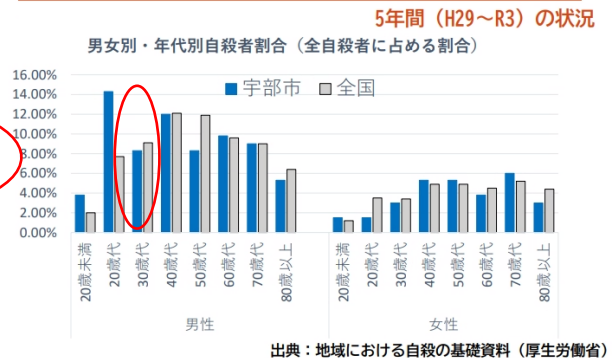
- ・日本の自殺率は諸外国に比べて高い。中でも宇部市では全国平均と比べて自殺が多く、現在も増加傾向です。
- ・自殺者は男性の方が高く、特に宇部市では20代男性の割合は全国平均の2倍です。
- ・一方、宇部市では、近年の女性の自殺者増加傾向が顕著です。（日本は諸外国に比べ女性自殺率が高い）



自殺の状況2 宇部市の男女別自殺者数の推移



自殺の状況3 宇部市の男女別・年代別自殺者割合



- ・自殺の原因・動機としては、男女とも「健康問題」が圧倒的に多い（54.3%）。なかでも20歳代は、「健康問題」「経済・生活問題」が山口県、全国平均に比べ相対的に多くなっています
- ・職業別構成としては、20歳代は、「その他の無職者」が、山口県や全国平均を上回っている。これは宇部市には大学等があるために学生数が多く、特に市内から来た学生は一人暮らしの中、多く悩みを抱え苦しんでいることが考えられます。また、全体の4割を占める「有職者」についても、仕事からくるストレス等を感じ始める年代でもあり、何らかの「勤務問題」を抱えていることが考えられます。

**なぜこのアイデアがいいのか**

## ◇人のつながりで自殺予防

自分たちの経験から、悩みを相談できる友人や家族の存在は大きい。気軽に相談できれば、若いうちから人との繋がりをもっていれば、相談に乗ってくれる人が1人でもいれば自殺予防になるのではないかと考えた。

人との繋がりを作る場として Instagram を活用する。そして今回実施するイベントを行う上で公共交通機関の使用はありで徒歩をメインとして健康づくりにも意識を持ってもらうことができると考えた。

Instagram であれば、若い世代が活用しており、中でも増加傾向である女性のユーザーも多い。

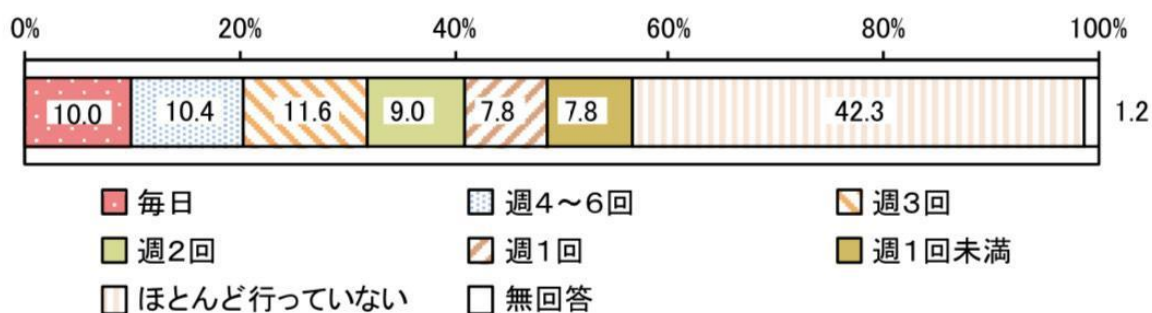
## ◇自殺の主原因である「健康問題」を改善

健康問題には「心の健康」と「体の健康」の双方があるが、心と体の健康が両立してこそ本当の健康です。体を動かすことでストレス解消になるとも言われています。

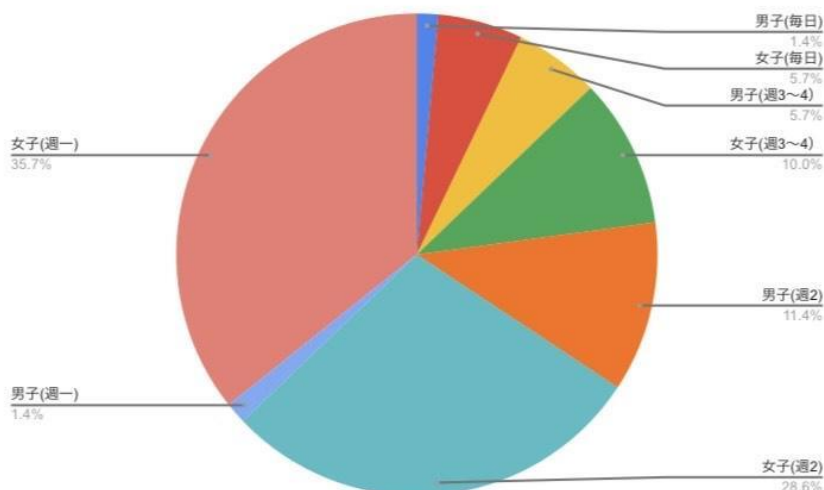
第四次宇部市健康づくり計画より、ウォーキングやスポーツなどの運動（30分以上）をほとんど行っていない人の割合が42.3%となっています。（下の上の図）

また、私たちの大学でも調査を行ったところ運動をする習慣がないことが分かった。そこで自殺予防につなげるためにも健康問題を解決したら良いと考えました。（下の下の図）

ウォーキングやスポーツなどの運動（30分以上）の頻度



<https://www.city.ube.yamaguchi.jp/kenkou/kenkouzukuri/1005091/1005092.html>



## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

若いうちから健康について意識を持ってもらうことが大切だと考えます。

無職の 20 歳代（学生）に対しては、同年代や地域住民との交流機会や場等、支援団体との協力により、孤立させない環境づくりが必要です。そのためにも私たちのプランを行い、そのきっかけに繋がれば良いと考える。

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。



<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます>

<以下のように分けて書いていきます>

1. 実現する主体
2. 実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大きき規模とその現実的な調達方法
3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

### 1. 実現する主体

宇部フロンティア大学 看護学部 8 名が主体となり実施します。

### 2. 実現に必要な資源

宇部フロンティア大学 看護学部 8 名。広報チラシ、景品等が必要です。  
必要な費用は、チラシ代と景品代。

### 3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

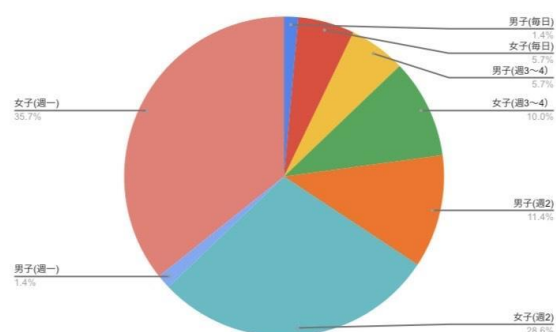
【R5.11～】

11 月上旬に市役所の連携共創推進課の方々からチャレンジオープンガバナンスの説明を受けた。最初、グループで「健康」という課題を挙げていた。その課題を解決していくために宇部市の健康増進課へ話を伺いにいった。そこで健康について話し合いをしている中で若い人の自殺率が宇部市は多いということを知り衝撃を受けた。そこから私たちの解決したい課題は「若い世代の自殺率を減らしたい」という気持ちで考えていくようになった。



【R5. 12～】

私たちは市役所へ行き、連携共創推進課の方と何度も話し合いを重ねて課題解決に取り組んだ。（下の左の写真）それと並行して学内の看護学科心理学科にアンケートを実施しました。アンケート内容としては「普段どのくらい運動しているかです。（下の右の写真）」



実施予定

【R6.3～R6.8】

まず、宇部市のときわ公園で開催される県内最大級のフリーマーケットに参加し、景品の資金を集めます。また、イベントを多くの人に知ってもらうためにチラシ広告を作成し配布します。イベント内容としては、チーム（3名以上で）で市街地を巡りながら、5つのジャンル「彫刻・公共施設(ときわ公園/空港など)・カフェ・動物(犬/猫に限る)・景色(海/空など)」のフォトジェニック写真を撮影し「#Active Go Out」をつけて Instagram に投稿してもらう。「#Active Go Out」の付いた投稿を宇部市の公式アカウントに再投稿し、「いいね」数が1番多かった投稿に対して景品を渡します。宇部市の公式アカウントを使用することで、様々な世代の方に投稿を見てもらうことが出来るため、平等な評価がされると判断しました。景品は商品券(Amazon ギフト券、スターバックスギフトカード、QUO カードなど)一人暮らしの人でも実家暮らしの人でも貰って嬉しい景品にした。